

【新指定文化財】

千手観音坐像 特別公開 那谷寺

今年の5月に新たに小松市指定文化財となった那谷寺の秘仏「千手観音坐像」を1カ月間限定公開します。

と き 9月1日(火)～30日(水)
9時15分～16時 ※無休

ところ 那谷寺普門閣

拝観料 那谷寺の一般拝観料のみ
(大人1,000円、小学生300円)



※9月18日(金)は小松市民拝観無料(受け付けで住所のわかるものを提示ください)

※9月1日(火)から特別拝観エリア(重要文化財「書院及び庫裏」・国名勝「庫裡庭園」・三尊石・琉美園)の拝観も再開(別途、拝観料1,000円が必要)

問い合わせ 那谷寺 ☎65・2111



尾小屋鉱山イベントデー 2026

尾小屋のまちに親しむ企画が盛りだくさん!詳しくはP14をご確認ください。



埋蔵文化財センター 日本遺産10周年企画

日本遺産認定10周年記念特別展
「こまつの石文化」
～時を超えたものづくりの系譜～

と き 10月10日(土)～12月13日(日)

ところ 埋蔵文化財センター

休館日 水曜日(祝日除く)、祝日の翌平日



八日市地方遺跡
出土品▶



関連イベント情報

観音下石切り場跡ライトアップ

ライトアップで夜空に浮かぶ石切り場跡を堪能!温かい光が石肌にとけこみ、石壁本来の自然美を厳かに際立たせます。国道416号線からも眺められます。

と き 11月上旬～12月(金・土・日曜日、祝日)
18時～21時

ところ 観音下石切り場跡(北出丁場)
※路上駐車はご遠慮ください

問い合わせ 観光文化課 ☎24・8130



クッキーで積もう!小松城の石垣

石の文化構成文化財の小松城石垣をお菓子で再現しよう。立体土器パズルもあるよ!

と き 9月13日(日)
11時～/13時～/15時～
(各30分程度)

ところ Komatsu 九(小松駅直結)

参加費 500円 ※要申し込み

●9月12日(土)、13日(日)はKomatsu 九 3周年フェスタを開催します。フリーマーケットやガラポン抽選会などお楽しみがいっぱい!

問い合わせ Komatsu 九 ☎58・2775



問い合わせ 埋蔵文化財センター ☎47・5713

小松能美2市連携企画展
「南加賀の後・終末期古墳と凝灰岩切石積石室」

と き 9月19日(土)～12月6日(日)

ところ 加賀国府ものがたり館

休館日 水曜日(祝日除く)、祝日の翌平日



日本遺産認定記念10周年記念シンポジウム
「南加賀の凝灰岩切石積石室と古墳文化」
～河田山古墳群の謎を追う～

と き 11月14日(土) ※10月3日(土)申し込み開始

ところ 市民センター 小ホール

申し込み 10月3日(土)～電話ほか



観音下石切り場…独特な黄色味を帯びた凝灰岩「観音下石」の石切り場跡



滝ヶ原石切り場…江戸時代から続く凝灰岩「滝ヶ原石」の石切り場。右は手掘りで採掘されたかつての西山丁場。左は現在も続く本山丁場

特集

日本遺産認定10周年

小松の石文化

再発見!

平成28年4月に日本遺産として文化庁の認定を受けた「珠玉と歩む物語 小松く時の流れの中で磨き上げた石の文化」は認定10周年を迎えます。市内各所に広がる構成文化財と「小松の石文化」の魅力を紹介します。

問い合わせ 観光文化課 ☎24・8130

小松の石文化とは

小松には、約2千万年前の火山活動をきっかけとした列島誕生期の地層が、里山各所で見られます。火山灰由来の凝灰岩は、切り出し加工しやすく、古墳の石室や城の石垣、近代には建築石材として全国流通しました。マグマ由来の赤い流紋岩は鋭く割れるため、2万年前に石器に利用されたほか、熱水作用によって白く変質すると、九谷焼原料の陶石へと生まれ変わります。

同じく熱水作用で生まれた銅鉱床は、尾小屋や遊泉寺で日本有数の銅山を育み、工業発展の礎となりました。後の工業の中心となる小松駅東側は、遙か昔の弥生時代に、地元石材の碧玉と外来のヒスイを用いて玉つくりを行い、流通させた拠点と重なっています。更に、石は景観にも結びつき、信仰や茶道、庭園文化に影響を及ぼします。

認定10周年を機に、先人たちが受け継いできた「小松の石文化」の魅力に触れてみませんか。

日本遺産の認定

日本遺産とは、地域の歴史的魅力などのストーリーを文化庁が認定し、文化資源を活用した観光振興や地域活性化につなげることを目的としています。



尾小屋鉱山(マインロード)…明治～昭和にかけて採掘された銅鉱山の坑道跡



那谷寺奇岩遊仙境…長い年月をかけて形成された那谷寺境内の石の風景地(国指定名勝)



小松城本丸櫓台石垣…前田利常公が整備した隠居城の石垣(市指定文化財)



河田山12号墳の石室…凝灰岩切石を積み上げた飛鳥時代の古墳石室(市指定文化財)

弥生時代の玉…碧玉製管玉とヒスイ製勾玉を組み合わせた弥生時代のアクセサリ

